



2021年2月10日

各位

会社名 一正蒲鉾株式会社
代表者名 代表取締役社長 野崎正博
(東証第一部 コード番号 2904)
問合せ先 取締役経営企画部長 高島正樹
(TEL 025 - 270 - 7111)

2021年6月期第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異
及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年8月7日に公表した2021年6月期の第2四半期(累計)(2020年7月1日～2020年12月31日)の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。
また、2021年6月期の期末配当予想につきまして、修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年6月期第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異(2020年7月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A) (2020年8月7日)	百万円 20,500	百万円 1,300	百万円 1,300	百万円 800	円 銭 43.41
実績(B)	19,571	1,553	1,585	1,225	66.50
増減額(B-A)	△928	253	285	425	—
増減率(%)	△4.5	19.5	22.0	53.2	—
(ご参考) 前年第2四半期実績 (2020年6月期第2四半期)	19,875	1,185	1,222	717	38.93

2. 差異の理由

売上高につきましては、健康志向の高まりやコロナ禍の内食需要のなかで、魚肉たんぱくが手軽の摂れる食材として主力商品群の「カニかま」が引き続き伸長しましたが、昨夏の猛暑に続き、販売が本格化する秋口もしくは気温が高めに推移し、おでん商材の「揚物」が軟調に推移したことにより予想を下回る結果となりました。

営業利益、経常利益につきましては、生産ライン合理化や商品アイテムの見直しなどの内部要因やエネルギー単価下落の外部要因の影響により予想を上回る結果となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、営業利益、経常利益の増加に加え、固定資産の売却益等の計上により予想値を上回る結果となりました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染の影響により先行きについては依然として不透明感が残ることから、現時点では前回発表値の修正は行わないこととしております。今後、修正が必要と判断される場合には速やかに開示いたします。

3. 2021年6月期配当予想について

(1) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2020年8月7日発表)	—	8円00銭	8円00銭
今回修正予想	—	10円00銭	10円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2020年6月期)	0円00銭	8円00銭 (普通配当 7円) (創業記念配当 1円)	8円00銭

(2) 修正の内容

当社の利益配分に関する基本方針に基づき、当期の業績等を総合的に勘案し、2021年6月期の期末配当金予想を1株当たり8円から2円を増配し10円へと修正させていただきます。

なお、本件につきましては、2021年9月開催予定の当社第57期定時株主総会に付議させていただく予定であります。

以上